

◆◇◆ 第7回大会タイム・テーブル ◇◇◆

NEU 平成16年6月14日、教室配当決定いたしました

◆7月24日(土) 9:15~受付 (120周年記念2号館3Fホール)

10:00~12:00 (自由研究午前の部)		13:00~15:00 (自由研究午後の部)		15:10~17:40		17:50 ~ 18:20
会場	自由研究発表Ⅰ	自由研究発表Ⅱ		会場	課題研究Ⅰ・Ⅱ	
2301 教室	第1分科会 『グローバル化』	第1分科会 『国立大学の法人化』		2303 教室	課題研究Ⅰ 『国立大学法人の 設計』	故阿部美哉 学会理事 追悼特別行事 (2303教室)
2302 教室	第2分科会 『研究評価』	第2分科会 『評価指標』				
2401 教室	第3分科会 『大学教員』	第3分科会 『e-learning』		2302 教室	課題研究Ⅱ 『大学の e-Learning戦略 のいま』	
2402 教室	第4分科会 『教育支援』	第4分科会 『導入教育』				
2403 教室	第5分科会 『私大経営』	第5分科会 『授業評価』				懇親会
2501 教室	第6分科会 『教育機会』	第6分科会 『大学職員』				國學院大學 院友会館 (B1ホール)
2502 教室	第7分科会 『大学と地域』	第7分科会 『大学院』				

※12:00~13:00 昼食 [編集委員会(法科大学院棟1F講師控室)]

※『故阿部美哉前國學院大學学長・学会理事追悼記念行事』は國學院大學主催・当学会共催にて開催されます。

◆7月25日(日) 9:15~受付 (120周年記念2号館3Fホール)

10:00~12:00 (自由研究午前の部)		13:00~13:30		13:40~16:30	
会場	自由研究発表Ⅲ	会場	総会	会場	公開シンポジウム
2301 教室	第1分科会 『教養教育』	2303 教室			2303 教室
2302 教室	第2分科会 『大学の質保証』				
2401 教室	第3分科会 『東アジアの高等教育政策』	◆教室番号表記について、以下のとおりです 2 3 0 1 教室 → 教室番号 → 階			
2402 教室	第4分科会 『学士課程教育』				

2403 教室	第5分科会 『アメリカの大学』	→ 号館 ◆懇親会場は別建物となりますので、別途ご案内いたします
2501 教室	第6分科会 『私立大学』	
2502 教室	第7分科会 『進路』	

※12:00~13:00 昼食

HOME

日本高等教育学会第7回大会

—自由研究発表プログラム—

【大会事務局からお知らせとお願い】

第7回大会における自由研究発表プログラムは、以下のとおりと決定いたしました。

発表者は、「○」を付しています。

研究代表者の方は、「発表題目」、「お名前・所属」、「発表時間」について、ご確認ください。

なお、テーマによっては、発表時間について必ずしもご希望に添えていない場合もございますが、大会運営上、指定された時間内での発表（質疑応答を含む）に、ご協力くださいますようお願いいたします。



7月24日（土）午前の部

自由研究発表 I

第1部会：『グローバル化』 司会：秦 由美子（大阪大学） 会場
2301

- ① 10:00～10:20 高等教育のグローバル化への適応戦略
○大森 不二雄（熊本大学）
- ② 10:20～10:40 グローバリゼーション、新自由主義とマネジエリアルリズム
—イギリスと日本の比較研究—
○横山 恵子（広島大学）
- ③ 10:40～11:00 中国高等教育のグローバル化戦略
○苑 復傑（メディア教育開発センター）
- ④ 11:00～11:20 トランスナショナル教育に対する質的保証 —比較的な視点—
○黄 福涛（広島大学）
- ⑤ 11:20～12:00 総括討論

第2部会『研究評価』 司会：小林 信一（筑波大学） 会場2302

- ① 10:00～10:20 日本の大学の学位授与数に基づく大学分類
○光田 好孝（東京大学）
- ② 10:20～10:40 学術研究活動からみた日本の大学の階層構造
○加藤 毅（筑波大学）

③ 10:40~11:00 科学研究費補助金採択状況による大学機関別研究力の分析

○柴山 盛生 (国立情報学研究所)

④ 11:00~11:20 科学研究費補助金採択研究課題数による大学等の研究活性度の調査研究

○野村 浩康 (東京電機大学)

前田 正史 (東京大学)

⑤ 11:20~11:40 大学・研究機関の研究評価に関する現状について

○馬場 敏幸 (法政大学)

⑥ 11:40~12:00 総括討論

第3部会『大学教員』

司会：田中 敬文 (東京学芸大学) 会場24010

① 10:00~10:20 旧チェコスロバキアにおける教員養成課程の普及に関する考察

-独立教育学部の成立を中心に-

○石倉 瑞恵 (名古屋大学大学院)

② 10:20~11:15 大学教員の任期制に関する研究-全国アンケート調査の分析を中心に-

○山野井 敦徳 (広島大学)

○村沢 昌崇 (広島大学)

○葛城 浩一 (広島大学)

③ 11:15~12:00 総括討論

第4部会『教育支援』

司会：加澤 恒雄 (広島工業大学) 会場2402

○

① 10:00~10:20 家政学の特徴と構造的問題 -日本家政学会の設立を中心に-

○木本 尚美 (広島大学大学院)

② 10:20~10:40 米国のメンタリング運動と大学生：GEAR-UPを中心に

○渡辺 かよ子 (愛知淑徳大学)

- ③ 10:40~11:00 少人数問題解決型授業における教育推進室の役割 -看護教育への組織的授業支援-

○佐竹 美智子 (茨城県立医療大学)

稲葉 めぐみ (茨城県立医療大学)

前田 和子 (茨城県立医療大学)

- ④ 11:00~11:40 大学教育の文化習得効果 -地方と女性の学生に着目して-

○大前 敦巳 (上越教育大学)

○相原 総一郎 (大阪薫英女子短期大学)

- ⑤ 11:40~12:00 総括討論

第5部会『私大経営』 司会：丸山 文裕 (国立大学財務・経営センター) 会場2403

0

- ① 10:00~10:20 私立高等教育機関のガバナンスについての法的規定 -日中比較-

○曹 燕 (東京大学大学院)

- ② 10:20~10:40 私立大学の“経営危機”再考

○渡部 芳栄 (東北大学大学院)

- ③ 10:40~11:25 国立大学法人化に伴う私立大学の経営意識に関する調査報告

○高橋 真義 (桜美林大学)

○鳥居 聖 (桜美林大学)

橋爪 孝夫 (桜美林大学大学院)

米田 敬子 (桜美林大学)

- ④ 11:25~12:00 総括討論

第6部会『教育機会』 司会：矢野 眞和 (筑波大学) 会場2501

- ① 10:00~10:20 中国における高等教育機会の地域間格差と規定要因

- 2001年四年制大学進学データの分析

○竇 心浩（東京大学大学院）

- ② 10:20～10:40 大学進学の規定要因 -事前収益率を中心に-
- 徐 国興（東京大学大学院）
- ③ 10:40～11:00 選択・適応モデルによる教育機会の分析
- 小林 雅之（東京大学）
- ④ 11:00～12:00 総括討論

第7部会『大学と地域』
2502

司会：川嶋 太津夫（神戸大学） 会場

- ① 10:00～10:20 大学の公開講座「臨床人間学」
- 庄司 進一（筑波大学）
- 紙屋 克子（筑波大学）
- ② 10:20～10:40 「大学の貢献：産業－社会－地域」に関する概念的分析和
そのアカウンタビリティに関する諸問題
- 北川 文美（一橋大学）
- ③ 10:40～11:25 大学と地域社会のパートナーシップに関する研究
- 北海道地域大学調査報告 -
- 姉崎 洋一（北海道大学）
- 光本 滋（北海道大学）
- 上田 理子（北海道大学大学院）
- 佐々木 貴文（北海道大学大学院）
- 石山 貴士（北海道大学大学院）
- 星 聡美（北海道大学大学院）
- 滝ヶ平 真也（北海道大学大学院）
- ④ 11:25～12:00 総括討論



7月24日(土) 午後の部

自由研究発表Ⅱ

第1部会『国立大学の法人化』
2301

司会：山本 眞一（筑波大学） 会場

① 13:00~13:20 台湾と日本の国立大学法人化制度に関する比較分析

○楊 思偉（台湾師範大学）

② 13:20~13:40 フランス高等教育における契約政策の展開と評価

-日本の国立大学法人化との比較の視点から-

○大場 淳（広島大学）

③ 13:40~14:35 法人化以降 -英国の経験から考える

○金子 元久（東京大学）

小林 雅之（東京大学）

○阿曾沼 明裕（名古屋大学）

小方 直幸（広島大学）

間瀬 泰尚（神戸親和女子大学）

大多和 直樹（東京大学）

○両角 亜希子（東京大学）

④ 14:35~15:00 総括討論

第2部会『評価指標』
2302

司会：大塚 雄作（大学評価・学位授与機構） 会場

① 13:00~13:20 大学の財務評価と格付け

○山本 清（国立大学財務・経営センター）

② 13:20~14:00 バランスト・スコアカードを用いた大学評価指標政策の試み

○奥居 正樹（愛媛大学）

○佐藤 浩章（愛媛大学）

- ③ 14:00~14:40 国立大学法人におけるパフォーマンス・インディケータの利用可能性
- 小湊 卓夫 (名古屋大学)
 - 青山 佳代 (名古屋大学)
 - 池田 輝政 (名城大学)

- ④ 14:40~15:00 総括討論

第3部会：『e-learning』 司会：岩永 雅也 (放送大学) 会場2401

- ① 13:00~13:20 近代学校の学びを乗り越えるものとしての遠隔連携授業の試み
 - 京都大学-鳴門教育大学遠隔連携授業
 (K N V:Kyoto Naruto Virtual University of Education) を素材として

○石村 雅雄 (鳴門教育大学)

- ② 13:20~13:40 I Tを活用した統合学習支援システムの利用による学習に関する分析

- K-SMAPYの事例をとおして -

○白川 博一 (國學院大學)

- ③ 13:40~14:00 大学におけるeラーニング導入形態に関する考察

○渡辺 恵子 (国立情報学研究所)

- ④ 14:00~14:20 e-Learningを利用した授業改善 - H u W e bの使途

○細川 敏幸 (北海道大学)

西森 敏之 (北海道大学)

小笠原 正明 (北海道大学)

- ⑤ 14:20~14:40 大学におけるI T活用の現状と課題

○林 一夫 (メディア教育開発センター)

- ⑥ 14:40~15:00 総括討論

第4部会『導入教育』
2402

司会：阿部 和厚（北海道医療大学） 会場

- ① 13:00～13:20 長崎大学における初年次少人数セミナー（教養セミナー）の現状と課題

○高橋 正克（長崎大学）

- ② 13:20～13:40 学生の多様な学習履歴に対するための『科目開発型FD』実践
－長崎大学工学部リメディアル教育（数学）の事例－

○井手 弘人（長崎大学） 茂地 徹（長崎大学）

原田 哲夫（長崎大学） 鶴田 伊佐男（長崎大学）

天野 智水（長崎大学） 栗山 一孝（長崎大学）

- ③ 13:40～14:00 大学生の学力低下問題への対応

－プレースメントテストの開発とリメディアル教育の実施－

○小野 博（メディア教育開発センター）

- ④ 14:00～15:00 総括討論

第5部会『授業評価』

司会：沖 清豪（早稲田大学） 会場2403

- ① 13:00～13:20 教育改善をもたらした学生による授業評価の活用

－茨城県立医療大学の事例－

○稲葉 めぐみ（茨城県立医療大学）

佐竹 美智子（茨城県立医療大学）

阿部 帥（茨城県立医療大学）

- ② 13:20～13:40 国立大学で実施されている学生による授業評価の実態について

○天野 智水（長崎大学）

- ③ 13:40～14:00 学生による授業評価と自由記述

橋本 健夫（長崎大学）

○林 朋美（長崎大学）

- ④ 14:00～15:00 総括討論

第6部会『大学職員』 司会：濱名 篤（関西国際大学） 会場
2501

① 13:00～13:20 大学ボランティアセンターの可能性について

○村田 素子（聖心女子大学）

② 13:20～13:40 大学職員の評価、処遇、育成に関する一考察

－大学職員現状意識調査による分析－

○秦 敬治（西南学院大学）

③ 13:40～14:00 大学職員高度化に関する一考察

－大学職員現状意識調査報告（2003年8月）より－

○上田 理子（北海道医療大学）

④ 14:00～15:00 総括討論

第7部会『大学院』 司会：原 康夫（帝京平成大学） 会場
2502

① 13:00～13:20 国立大学独立研究科における環境冠学科の設置メカニズム

○内山 弘美（国立教育政策研究所）

② 13:20～14:00 博士課程における教育と学位授与に関する研究（2）

○山崎 博敏（広島大学）

○福留 東土（日本学術振興会特別研究員）

葛城 浩一（広島大学）

渡辺 達雄（広島大学）

李 東林（広島大学）

③ 14:00～14:40 プロフェッショナル学位の社会的機能に関する考察

－MBAを事例として－

○笹井 宏益（国立教育政策研究所）

○出相 泰裕（大阪教育大学）

○村田 治 (関西学院大学)

山田 礼子 (同志社大学)

④ 14:40~15:00 総括討論



7月25日 (日) 午前の部

自由研究発表Ⅲ

第1部会『教養教育』 司会：小笠原 正明 (北海道大学) 会場
2301

① 10:00~10:20 成績評価のインフレに関する考察

－教養部改組・成績分布・公正－

○藤村 正司 (新潟大学)

② 10:20~10:40 総合大学における教養教育の組織化への取り組み

－名古屋大学教養教育院の設立－

○黒田 光太郎 (名古屋大学)

近田 政博 (名古屋大学)

鳥居 朋子 (名古屋大学)

③ 10:40~11:25 教養の専門化か、専門の教養化か

－学士課程カリキュラムの編成状況－

○吉田 文 (メディア教育開発センター)

○杉谷 祐美子 (青山学院大学)

④ 11:25~12:00 総括討論

第2部会『大学の質保証』 司会：馬場 将光 (白鷗大学) 会場
2302

① 10:00~10:20 学位の質の保証についての一考察

○八木 克道 (大学評価・学位授与機構)

- ② 10:20~10:40 法科大学院の認証評価とその特質
○早田 幸政 (金沢大学)
- ③ 10:40~11:10 国際的な大学の質保証に関する日米比較
○塚原 修一 (国立教育政策研究所)
○斎藤 貴浩 (大学評価・学位授与機構)
○前田 早苗 (大学基準協会)
- ④ 11:10~11:40 大学における教育活動の質的保証に関する研究－学部長調査結果報告－
○大膳 司 (広島大学) 有本 章 (広島大学)
黄 福涛 (広島大学) 小方 直幸 (広島大学)
大場 淳 (広島大学) ○渡辺 達雄 (広島大学)
葛城 浩一 (広島大学)
福留 東土 (日本学術振興会特別研究員)
- ⑤ 11:40~12:00 総括討論

第3部会：『東アジアの高等教育政策』 司会：小林 雅之 (東京大学) 会場
2401

- ① 10:00~10:20 後期中等職業教育と高等教育政策 -中国と日本の比較
○劉 文君 (東京大学大学院)
- ② 10:20~10:40 移行体制下の高等教育政策 -カンボジア、ベトナムのケース-
○潮木 守一 (桜美林大学)
- ③ 10:40~11:00 シンガポールとマレーシアにおける高等教育の国際展開と政策
○米澤 彰純 (大学評価・学位授与機構)
塚原 修一 (国立教育政策研究所)
大森 不二夫 (熊本大学)
斎藤 貴浩 (大学評価・学位授与機構)
- ④ 11:00~12:00 総括討論

第4部会『学士課程教育』
2402

司会：荒井 克弘（東北大学） 会場

① 10:00～10:20 学士教育における教育知識の構成過程に関する研究

－学際的カリキュラムについての事例研究をもとに－

○岡田 佳子（九州大学）

② 10:20～10:40 わが国における大学入学資格の変遷

○南部 広孝（長崎大学）

③ 10:40～11:00 新学習指導要領の下での高等学校の教育内容について

－大学入試との関連から－

○倉元 直樹（東北大学）

④ 11:00～11:40 社会人学生に有効な授業設計の方法論

○鳥居 朋子（名古屋大学）

○中島 英博（名古屋大学）

近田 政博（名古屋大学）

⑤ 11:40～12:00 総括討論

第5部会『アメリカの大学』
2403

司会：田中 義郎（玉川大学） 会場

① 10:00～10:20 米国州立大学における外部資金導入の状況とその実施体制

－人文・社会科学でも可能な外部資金導入の模索－

○船守 美穂（政策研究大学院大学）

② 10:20～11:15 日米大学の詳細比較 「大学教員の「講座モデル」と「自営モデル」

金子 元久（東京大学）

小林 雅之（東京大学）

阿曾沼 明裕（名古屋大学）

○小方 直幸（広島大学）

○間淵 泰尚 (神戸親和女子大学)

○大多和 直樹 (東京大学)

両角 亜希子 (東京大学)

③ 11:15~12:00 総括討論

第6部会『私立大学』
2501

司会：浦田 広朗 (麗澤大学) 会場

① 10:00~10:20 中国民営高等教育の成長とその要因

-省別のクロスセクション分析-

○鮑 威 (東京大学大学院)

② 10:20~10:40 私立大学教育に対する家計の満足度と学費支払い意欲

○朴澤 泰男 (ミシガン大学大学院)

③ 10:40~11:00 新設大学における定員充足の動向

○作田 良三 (四国学院大学)

④ 11:00~12:00 総括討論

第7部会『進路』
2502

司会：溝上 智恵子 (筑波大学) 会場

① 10:00~10:20 中国における国立大学学部生の卒業後の進路志向に関する一考察

○王 傑 (お茶の水女子大学大学院)

② 10:20~10:40 企業における採用・初期キャリアパスと大学教育-英国の事例を中心-

吉本 圭一 (九州大学)

○山田 裕司 (九州大学大学院)

小方 直幸 (広島大学)

稲永 由紀 (香川大学)

③ 10:40~11:35 短大卒業生の進路・キャリア形成と大学評価

○吉本 圭一 (九州大学)

- 安部 恵美子 (長崎短期大学)
- 吉武 利和 (香蘭女子短期大学)
- 石原 好宏 (福岡工業大学短期大学部)
- 藪 敏晴 (佐賀女子短期大学)
- 白川 佳子 (長崎短期大学)
- 稲永 由紀 (香川大学)
- 松永 一臣 (長崎短期大学)

④ 11:35~12:00 総括討論

◆◇◆ 日本高等教育学会第7回大会 課題研究 ◆◇◆

7月24日(土)15:10~17:40

課題研究 1. 「国立大学法人の設計」 2303教室

(趣旨) 2003年7月9日に、「国立大学法人法」が成立し、国立大学は2004年6月8日から法人化されることに決まった。国立大学の人事、財務、運営の体制が根本から変わる大改革となる。法人化に対する根強い批判もさることながら、実施が近づくにつれ当初の構想、宣伝されていた内容とは異なる点も増えてきた。行政改革の一環として始まった国立大学の法人化は、当初は独立行政法人化の枠組みの下で議論を進められた。それが後に大学の独自性を考慮した「国立大学法人」構想へ変わり、現在はまた、厳しい財政事情を背景に行政改革色が一段と強まっている。

今回の課題研究では、国立大学法人化の「構想」とは何であったのか、当初どのような設計がなされていたのか、まずその内容を確認したい。独立行政法人とどのように違い、構想本来の特色、そして「構想」から「国立大学法人法案」にいたるまでの変容をさぐり、そのズレについても明らかにしたい。報告者は3名、羽田貴史氏には高等教育研究者の観点からこれまでの経過を、合田隆史氏には「国立大学法人化構想」が浮上した当時の大学課長として、そして梶山千里氏には国立大学協会法人化特別委員会の初期からのメンバーとして、また国立大学長の当事者の立場から、それぞれご報告いただき、「国立大学法人の設計」当時と現在を比較分析してみたい。

◎報告者：

羽田貴史氏（広島大学高等教育研究開発センター 教授）

梶山千里氏（九州大学総長、国立大学法人化特別委員会委員長）

合田隆史氏（文部科学省高等教育局企画課長）

◎指定討論者：

山岸駿介氏（多摩大学 客員教授・教育ジャーナリスト）

◎司会：

江原武一氏（京都大学教授）

====◆====◆====◆====◆====◆====◆====◆====◆====◆====◆====◆====◆====

課題研究 2. 大学のe-Learning戦略のいま 2302教室

(趣旨)

教育制度に関する文部科学省の規制緩和が進んでいるが、その一つとしてeラーニングを含めた遠隔学習の方法によって、学習者は自宅にしながら大学の学部卒業単位124単位のうち60単位までを取得できることになった。これは生涯学習としての大学教育の発展を先取りする制度の一つである。

現状においては、eラーニングによる遠隔学習の方法を採用する大学はきわめて少ないが、ITの導入による対面型授業の質の改善また授業対象の拡大などを中心に、各大学のeラーニング戦略は徐々に形成され具体化されつつある。

今回の課題研究では、標記のタイトルで日本における各大学のeラーニング戦略を知り、その実現のための問題点と課題を整理し共有しておくことにしたい。

◎報告者：

吉田 文氏 (メディア教育開発センター 教授)

師玉康成氏 (信州大学 教授)

阿部和厚氏 (北海道医療大学 教授)

◎指定討論者：

細川敏幸氏 (北海道大学高等教育機能開発総合センター 助教授)

◎司 会：

池田輝政氏 (名古屋大学 教授)

HOME

公開シンポジウム 『職業大学院の現状と将来』

※公開シンポジウムは無料にて一般に公開して開催いたします。

7月25日（日）13:40～16:30 会場2303番教室

（趣旨） 2004年4月、法科大学院を中心に90の「専門職大学院」が一斉に発足した。それはわが国の大学における専門職業教育の、新しい時代の始まりを告げるものといってよい。しかし、その新しい時代の新しい専門職業教育の全体像は、残念ながらいまの時点ではまだ、見えていない。

わが国の大学における専門職業教育は、これまで基本的に学部段階で行われてきた。アメリカに倣ってその主要部分を大学院の修士課程段階に移すべきだという考え方は、第二次大戦後の新しい大学制度の発足以来繰り返し登場し、中央教育審議会等で議論されてきた。しかし専門学部制をとるわが国では、専門職業教育は何よりも学部段階で行われるべきものとされ、大学院は研究者養成の場とみなされてきた。

この間、修士課程大学院の「職業大学院」化の努力が全くされてこなかったわけではない。工学・農学の領域では、技術者として要求される専門的知識・技術の高度化に伴い、修士課程大学院の拡充が進められ、進学者数も年々増加し、また人文系でも教員養成に特化した修士課程大学院が開設されるなど、一部大学院の「職業大学院」化が図られてきた。

さらに2000年の春には、98年の大学審議会答申に基づいて、「専門大学院」制度が発足し、未発達社会科学系を中心に職業人養成に特化した大学院の開設がめざされた。今回の「専門職大学院」制度は、その延長線上に、一般の大学院とは設置基準も学位制度も異なる、独立の制度として発足したものである。

しかし、その専門職大学院制度は、わが国の大学における専門職業教育全体のあり方の十分な検討を踏まえた上でのものとはいいがたく、（法科大学院のように）学部における専門教育との関係、（ビジネス系のように）一般の大学院で行われている人材養成との関係、（医・歯・薬のように依然として）6年制学部で行われている専門職業教育との関係など、多くの未解決の問題を残し、あるいは新たに提起している。

このシンポジウムでは、あえて「職業大学院」という包括的な名称のもと、専門職大学院制度の出現によって改めて提示された、一般大学院でのそれを含む大学院段階の専門職業人養成の課題を、法務・ビジネス・教育の3分野を事例に検討し、将来への展望を試みることを、その狙いとした。

◆司 会 天野 郁夫 氏（国立大学財務・経営センター）

◆パネラー 山田 礼子 氏（同志社大学）

桑原 敏明 氏（昭和女子大学）

平林 勝政 氏（國學院大學）